育成会　かわさき

知的障害者親の会　会報　№204
2022. 5. 1

全国手をつなぐ育成会連合会の現状とこれから　～寄稿～

全国手をつなぐ育成会連合会
会長　　久保　厚子

川崎市育成会手をむすぶ親の会の皆さま、ご無沙汰しております。まず初めに、コロナ感染によりお亡くなりになられた方々のご冥福と、感染された方々にお見舞い申し上げます。会員の皆さまも、コロナ禍の中、感染対策に気を使い、コロナ以前の暮らしとの変化を余儀なくされていることと存じます。特に障がいのある方々のストレスも大きくなり、早い感染収束を願うばかりです。

【全国手をつなぐ育成会連合会の現状】

私たちの育成会は、今年の７月１９日で満７０年になります。そして、２０１４年（平成２６年）に全国手をつなぐ育成会連合会を設立して８年が経ちました。
平成３１年末に東京に事務所を開設し１人の職員を雇用し、令和元年には一般社団法人格を取得して、又村あおいさんを常務理事兼事務局長に迎え、事務局体制を強化しました。令和４年からは旧全日本育成会の「手をつなぐ」担当職員だった室津大吾さんを再び職員に迎え更に活動を活発化していきます。コロナ関係では、国への要望は殆どが採用され、全国の会員さんへ防護服・ゴーグル・医療用マスク・手袋・消毒液等の支援も行っています。また、各省庁や各政党への要望活動や声明文も多数出し、国や社会への働きかけも頻繁に行い、障がいのある人達の、安心して過ごせる当たり前の生活の実現に向けて活動を行っています。

【全国手をつなぐ育成会連合会のこれから】

地域育成会を含む組織活性化を進めると共に、障がいのある本人に委員会の委員になっていただき、活躍していただける準備を始めます。また、次世代を担う会員さんの育成のための研修を進めると共に、各地の育成会の会員さんがオンラインを使って研修や会議が出来るように支援していきます。育成会の活動の原点は、①人権擁護②政策提言③インクルーシブ教育の補償です。

今の私たち育成会会員は、過去の先人たちのおかげで今があります。

今の私たち育成会会員は、今の我が子と未来の障がいのある人のための活動を行わなければならない、と思っています。川崎市育成会手をむすぶ親の会会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

ホームページ、リニューアル公開

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で、検索してください。

（一社）全国手をつなぐ育成会連合会「一般社団法人発足記念式典」

令和２年４月に全育連が一般社団法人格を取得した記念と、また新型コロナ感染症の影響により開催ができなかった令和２、３年度の全国大会を代替する式典として、ユーチューブ配信する形式で開催されました。その後、DVDが、当会にも配布されました。

【開会宣言】【開催経緯説明】に続き「手をつなぐ母の歌斉唱」では、歌声と共に全国の正会員の活動の様子がスライドショーで映されました。

私たち川崎市育成会の緑陰訓練・「東武ワールドスクエア・梨狩り」の集合写真も紹介されて嬉しく思いました。

【大会会長あいさつ】　全国手をつなぐ育成会連合会会長　久保　厚子 氏

コロナ禍でも皆さんが創意工夫をして頂いたおかげで、各種の大会がオンラインで開催されるようになってきました。

この式典も皆さんの繋がろうという思い、ご支援を頂いて開催しています。お聞かせ頂いた声を国や地方行政に届け、また様々な情報を皆さんに届け、本人たちの安心安全な暮しのために更に努力しなくてはなりません。

一般社団法人格を取得し組織を一つにまとめていくにあたり、一致団結して前へ進むことをお誓い致します。

【中央情勢報告】 全国手をつなぐ育成会連合会常務理事兼事務局長　又村　あおい 氏

まず法制度の動きについて、平成３０年の法改正と令和３年度の報酬改定で変わった障害福祉サービスの内容、障害者差別解消法の改正の話がありました。キャラバン隊などの啓発活動の勧め、成年後見制度はメリットを実感できる制度に変えるために改善を求めていくことの話がありました。

また、全育連の動きについては、一般社団法人格の取得による活動の活性化、事務局体制の強化、大災害・新型コロナの備えと対応、福祉理念の普及事業の継続、地域資源開発の取り組み、組織を検討するプロジェクトチームの立ち上げ、保険事業の開始など、わかりやすく説明されました。

【各ブロック・センター委員会報告】全国７ブロックからはブロック大会中心の報告でした。令和２年度は全て開催されませんでしたが、令和３年度は、ほとんどのブロックがオンラインを活用して開催できました。地域によっては高齢化でインターネット環境が整わず参加が難しいなどの課題もあるようです。両年とも開催できなかった代替として、大会誌を発行したブロックもありました。

次に各委員会から活動の報告があり、活発に情報発信されています。特に「地域資源開発協働推進ハンドブック」や、年金学習用のビデオ・シナリオ・パンフレットは、今後の活用が期待されます。

【式典宣言】【本人宣言】の後、次期全国大会開催地、福井県手をつなぐ育成会より活動の様子やご本人からの「皆さんに会えることを楽しみにしています」とビデオメッセージがあり、式典は終了しました。

育成会の組織と各地の活動の様子を詳しく知ることができて、最後まで興味深く視聴できました。

DVDにつきましては貸出しもできますので、当会、ＨＰからお問い合わせください。

（小澤　千枝）

令和４年度川崎市への予算要望回答について

会計　　梅田　順子

３月２２日（火）に川崎市からの回答を受け取りに三役で市役所に行ってきました。回答については残念ながらあまり進展は見られませんでした。その後次のような意見交換を行いました。

１．第一、第二やまぶき跡地施設の委託業者について
高津区の地域生活支援拠点となるこの施設の運営は、社会福祉法人円融会（神戸）に決定しました。生活介護、短期入所、日中一時支援の他、グループホームの運営も予定しているとのことです。

２．グループホームの空き部屋状況について
市内に多くの空き部屋があるとの報告が上がっていますが、利用者のニーズに合わないという理由もあるのではないか？たとえば、日中に支援者がいない、週末は帰宅をお願いされる、重度障害者に対応したものが少ないなど、なぜ、空いているのかを調べてほしいとお願いしました。市としては重度障害者に市の単独加算を多くつけているとのことでした。
また、相談支援センターや行政窓口が空き状況を把握できていないようなので、うまく共有できるようにしてほしいと伝えました。しかし、最近は株式会社の参入も増えて情報の共有が難しい所もある、との回答でした。

３．「かざぐるま」跡地について
障害者施設として利用したいと他の部局でも希望が出ていて調整しており、今年度中には決定する見込みだそうです。

４．通所施設の利用時間短縮について
最初は１６時であった帰りの時間が、施設側から一方的に１５時半と短縮されています。働き方改革の一環で、と言われても学校と変わらない時間に帰ってくるのは早いのではないかと伝えました。これに対し、行政側も原則の確認が必要であるとの回答でした。

５．入所施設の日中活動について
「桜の風」や「ふくふく」では、午後の早い時間に入浴をしてパジャマ姿でくつろいでいると聞いています。そのような生活で地域移行ができるのか心配であると伝えました。行政としては把握していないので、今後確認するとの回答でした。

６．災害時の二次避難所について
南・中・北部リハビリテーションセンターを二次避難所にすることは決定しています。その他の古い建物などは見直しを進めているようです。災害時要援護者避難支援計画については、人員不足などにより進捗状況は芳しくないとのことでした。

生サポは 知的障がい児者・自閉症児者の 家族の安心を支えます
●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援 ●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

主な補償内容
病気やケガで入院したとき 入院給付金
病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金
虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金（地震・噴火・津波によるケガも対象）
賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金
就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき 職業従事中事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

AIG損保の普通傷害保険
生活サポート総合補償制度
特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら
■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビル2号館２F
TEL：03-5321-3373 FAX：03-5321-4774
受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）
■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
https://www.aig.co.jp/sonpo
東京第二プロチャネル営業部
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階
TEL：03-6894-9110
受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）

ご入会のお問合せはこちら
一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2 神奈川県社会福祉会館内
TEL：045-314-7716 FAX：045-324-0426
http://yurisapo.jp/index_qhm.php

2020年12月現在の内容です。(D-004960 2022-03)

2021年度は9,795名のご加入ありがとうございました。毎月１日付で加入できます。2022年度もご加入よろしくお願いいたします。

２０２１年度育成会フォーラム

【会長あいさつ】 全国手をつなぐ育成会連合会会長　久保　厚子 氏

新型コロナウイルスの感染防止対策の影響で大変な状況が続いています。一日も早い終息を願うばかりです。今年も、昨年度に引き続きオンラインでの開催となりましたが、遠隔地の会員の皆様から大変好評をいただき、オンラインの可能性は、これからの社会のありようとして、新型コロナが終息した後も引き継がれていくものと思います。

【基調講演】 **総合支援法見直しの論点**

植草学園大学副学長　（一社）スローコミュニケーション代表
社会保障審議会障害者部会委員　野澤　和弘 氏

基本的な考え方として、「障害者が希望する地域生活を実現する地域づくり」「社会の変化等に伴う障害児・障害者のニーズのきめ細かな対応」「持続可能で質の高い障害福祉サービスの実現」を掲げ、当事者中心に考え、本人の願いをできる限り実現していくためには、どのような取り組みをするべきか。現状と課題、疑問に思わざるを得ない状況など、資料を提示して語っていただき、取り組むべき課題も多いので、少し立ち止まって見直してみては、との発言もありました。今後も、様々な動きに注目して、皆さんの声を届けて欲しいとのことです。

【ポイント解説】 **総合支援法・児童福祉法改正議論の現状と見通し**

全国手をつなぐ育成会連合会常務理事兼事務局長　又村　あおい 氏

知的・発達障害分野を中心に、議論の経過のポイントの説明がありました。「障害児支援」「居住支援」「相談支援」「就労支援」「精神障害者等に対する支援」「制度の持続可能性の確保」「居住地特例・高齢障害者支援」「障害者虐待の防止」など、これまでの取り組みで、いろいろ良くなりましたが、更に見直すべき課題もたくさんあります。このフォーラムのような学ぶ機会には、今まで知らなかった情報や新しい制度を知ることができます。オンラインでの配信もされていますので、より多くの方に視聴していただければと思います。

【パネルディスカッション】

障害者総合支援法・児童福祉法の改正に向けた知的障害者福祉の展望と課題

進行：全国手をつなぐ育成会連合会専務理事　田中　正博 氏
登壇：NPO法人全国地域生活支援ネットワーク事務局長　丹羽　彩文 氏
・全育連政策センター委員長　高木　誠一 氏　・全育連会長　久保　厚子 氏

まず、丹羽氏から、「令和６年障害者総合支援法の見直しに向けた取り組み」の概要を伺いました。高木氏からは、育成会会員の声から、緊急時対応、強度行動障害のある人の地域生活の実現、高齢化への対応、地域での自立生活を支える仕組みなどの報告がありました。久保会長からは、「３年後の障害者総合福祉法改正法見直し」について、家族の視点からの報告がありました。今年度も、動画配信で開催されました。コロナの影響のもと、どのようにしたら子どもたちのために、活動を拡げられるのか、模索の先に少しずつ方向性が見えてきたように思います。（髙山　君子）

『手をつなぐ』を購読しませんか

全国手をつなぐ育成会連合会発行の機関紙『手をつなぐ』は、
身近な課題から障害福祉施策まで、暮らしに役立つ最新情報満載です。
年間購読料、３,９００円です。
関心のある方は、ぜひ、各支部役員までご連絡お願いします。

全国手をつなぐ育成会連合会「令和３年度正会員代表者・事務局長合同会議」報告

会長　美和　とよみ

昨年に引き続き、今年度もオンライン開催となり、当会は３月９日（水）に出席しました。皆さんオンラインでの開催にも慣れた様子で、発言されていました。画面越しではありますが、久保会長を始め、皆さんのお顔が目の前にあるので、緊張した面持ちでの参加でした。

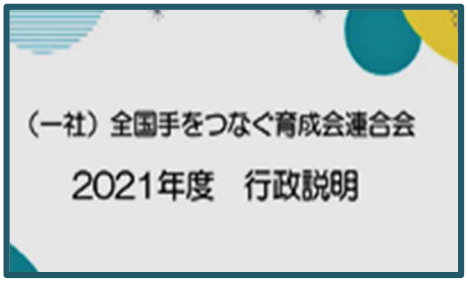
令和３年４月に一般社団法人を取得しましたので、法人として活動を進めていくための安定した財政基盤と、若い人たちに活動を繋げて行くことなど、６月の総会に向けた議案書と組織作りについての会議でした。

《全国手をつなぐ育成会久保会長のあいさつから》

コロナ禍でオンライン会議が行われるようになり、移動することなく全国から参加できる、そんな社会に変わってきた。今、ロシアとウクライナが戦争をしている、障害のある人がどのように過ごしているのか、安全に避難できたのか、が心配です。また、障害のある人の人権が守られ、安心して当たり前に暮らしていく共生社会を目指している当会として、この戦争が日本の経済にどのような影響を及ぼすのか、福祉予算への影響が懸念されます

２０２１年度行政説明会

昨年同様に動画配信となり、３月２４日から配信されました。



１．文部科学省　初等中等教育局　特別支援教育課
特別支援教育の動向について説明がありました。
特別支援教育の現状として少子化が進む中、児童生徒は増加の状況、中でも知的障害のある児童生徒の増加は顕著。新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議の報告では、特別支援教育の向上として、教師の養成の在り方等に関する検討会議を始めているとのことでした。

２．厚生労働省職業安定局　障害者雇用対策課
障害雇用対策の現状と今後の展望について、「障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会報告書」(令和３年６月８日とりまとめ)の内容で、制度所管ごとに具体的な施策を進めるとのことでした。

３．厚生労働省　社会・援護局　傷害保健福祉部　障害福祉課
障害福祉施策の動向について説明がありました。障害者総合支援法改正法の３年後の見直しを行い、令和３年１２月１６日に社会保障審議会障害者部会において議論し中間整理を行った内容でした。
引き続き検討する論点として、療育手帳の在り方ついて、法的な位置づけはなく自治体ごとに判定方法や認定基準にばらつきがあることから、幅広く調査研究を続けるべきと検討の方向性がありました。

現状を知ることで、多くの課題と向き合い、動画配信で何回も視聴できたことで、今後の子ども達の将来に向けて、学ぶことがたくさんあると実感しました。（板垣　ひとみ）

『川崎市育成会手をむすぶ親の会第１０回総会』のお知らせ

総会は、代議員制とし、別表に定める支部から推薦または選出した代議員及び立候して当選した代議員、並びに会則第８条の役員のうち会計監査を除く役員、並びに会則第２０条で定める支部代表と会則第２５条で定める委員会委員長をもって構成し、開催します。

日　時　：　令和４年５月３０日（月）１０時３０分～１２時
場　所　：　川崎市生活文化会館　てくのかわさき　２階　ホール

代議員数

支　部　名	定数
川崎支部	6
幸支部	2
中原支部	2
高津支部	3
宮前支部	2
多摩支部	3
麻生支部	2
田島支援学校支部	2
中央支援学校支部	1
立候補者枠	5

【議事】
１．令和３年度事業活動報告（案）
２．令和３年度決算報告（案）・会計監査報告
３．令和４年度事業活動計画（案）
４．令和４年度予算（案）

・支部代議員数は令和３年度会員数で算出し、最低２名とする。（中央支援学校支部会員数１名）
・代議員立候補者枠は５名です。
立候補される方は５月１３日（金）までに各支部長にお申し込みください。立候補者枠を超えた場合は抽選とさせていただきます。

令和４年　川崎市心身障害児者福祉大会

日　時：６月２５日（土）１３時００分開始（受付１２時３０分～）
会　場：川崎市総合自治会館ホール　川崎市中原区小杉町３－６００
コスギサードアヴェニュー４階
＊専用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

大会スローガン「障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に」

第一部　式　典　１３時～１３時３０分　大会実行委員長挨拶、来賓挨拶、大会宣言等
第二部　講演会　１３時４０分～１５時００分（予定）
テーマ「逃げる！考えよう～マイタイムラインの作成を通して～」
講師　　川崎市健康福祉局総務部　危機管理担当職員

＊ 参加費無料：関心のある方はどなたでもご自由に参加できます。
定 員：８０名（先着順）

＊ 心身障害児者とその家族の地域福祉の向上を図るために開催されます。
皆様のご参加をお待ちしております。

＊ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用をお願いします。

「かわさきキャラバン隊」講演！

権利擁護委員会委員長　　阿部　多賀子

１月２１日(金) 川崎区東小田小学校にて、オンライン講演を行いました。

小学４年１組、２組の教室と私たちキャラバン隊メンバーを ZOOM で繋げての講演です。講演方法は、パワーポイントの画面を見ながら知的障害疑似体験を行います。絵や字を書いてもらったり音を聞いてもらったり、質問を頻繁にすることで、障害のある人の困っていることをより実感してもらえたのではないかと思います。

また、自分ならどうして欲しいかということまで考えてくれて、４年生は私たちが考えているより大人で、とても素直でした。講演ができて本当に良かったです。

《子どもたちの感想》

・知的障害という言葉は聞いたことがあったけど、どんな障害なのかはわかりませんでした。体験を通じて、見え方や聞こえ方がふつうとは違うんだなと思いました。
でも、ふつうというのは人それぞれ違うので、その人にあったサポートを考えることが大切だと気付きました。

・知的障害者は見え方、聞こえ方が他の人と違うのでコミュニケーションを取ることが難しいんだと思いました。でも、その違いは誰にでもあることで、違いに合ったサポートでかかわることが大切だと思いました。

・話をきいて、改めて「ふつう」とは皆違うということに気付きました。

・「みんながサポートをすれば「障害」という言葉はなくなると思いました。

・「みんなちがってみんないい」という言葉が印象的でした。サポートには器具や物だけでなく、相手を理解する気持ちや言葉かけも大切であると感じました。

この子どもたちが大人になる頃には、障害のある人もない人も共に生きる社会が実現できていることを目標に「かわさきキャラバン隊」の活動を続けてまいります。

「社会福祉法人はぐるまの会」様へのかわさきキャラバン隊講演

権利擁護委員会副委員長　　西澤　知子

かわさきキャラバン隊に、社会福祉法人はぐるまの会様より職員研修のための知的障害疑似体験講座の依頼があり、３月１８日（金）１２時～１３時　ZOOM による講演を行いました。

はぐるまの会の職員６名が、職場やご自宅から参加してくださり、４つの疑似体験と朗読を聞いていただきました

参加者が少なく不安もありましたが、疑似体験が進むにつれ、当方からの質問への返答も多くなり、とても嬉しく思いました。

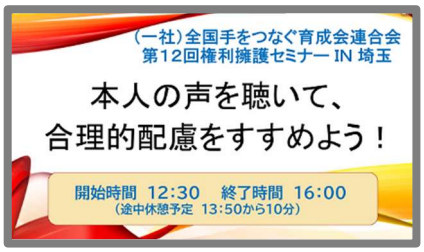
講演後の感想を伺ったときには、「言葉に頼りすぎないことも大切」「わかりやすく説明する力が必要」「何に興味があるのか、何がわからないかを意識していきたい」などのご意見をいただきました。そして「皆さんのように優しく丁寧な話し方を心掛けたい」とのご意見には、嬉しい反面気恥ずかしい気持ちになりました。

これからもいろいろな場面での講演があると思いますが、緊張しつつも楽しみながら講演していこうと思います。

第１２回全国手をつなぐ育成会権利擁護セミナーin埼玉
テーマ『本人の声を聴いて、合理的配慮をすすめよう！』

副会長　　吉野　明美

日　時：令和４年２月３日（木）１２：００～１６：００
会　場：埼玉会館　３Ｃ会議室＆オンライン



【基調講演】「障害者差別解消法の改正を考える」
講師：岩上　洋一 氏（一般社団法人全国地域で暮らそうネットワーク代表理事）

現在の障害者差別解消法は、正当な理由なく障害を理由として差別することを禁止するものだが、現況として役所などの公的事業所は差別をしないことを義務とされているものの、お店や会社など民間事業所については努力義務にとどまっているところを、改正により令和６年度中までに義務化されるとのことでした。

この法律は、良質な社会を作っていくためお互いの価値を認め合う社会になるように、建設的な対話で配慮の方法を探していけたら良いと提言がありました。

【権利擁護センターからの報告】「障害基礎年金チームの取り組み」
報告者：井上　三枝子 氏（全国手をつなぐ育成会連合会権利擁護センター委員）

「基礎年金チーム」を立ち上げて、障害年金について正しく理解し子どもの将来に備える年金の学習会は必須と考え、「障害基礎年金学習プログラム」を作成し、年金の申請・更新の一助となるようDVDや資料など学習会のシナリオを提供してくれるそうです。

【パネルディスカッション】
① 「本人の声を聴こう！そして合理的配慮を考え、すすめよう」
ご本人　４名・根本 浩伸 氏（支援者：公益社団法人埼玉県手をつなぐ育成会事務局長）

４名のご本人は皆仕事に対する責任感が強く「自分が失敗したから仕方ない」と思っても、怒鳴られたり、厳しい言葉で叱られるのは嫌だと感じていました。コミュニケーションの取り方に困っている様子もあり、自分の意思はあるものの上手く表出できないもどかしさも感じていました。

支援者の根本氏は周りに管理されるのではなく、意思がどの程度反映されているのか今後も見守っていきたいと話しました。

② 「わかりやすさ」を作る、とどける
室津　大吾 氏（一般社団法人スローコミュニケーション理事）

「スローコミュニケーション」の紹介があり、知的障害のある人たちに必要な情報をわかりやすい形で届け、社会参加や就労に役立てるようにと活動しているそうです。

③ ディスカッション
コーディネーター：田中　正博 氏（全国手をつなぐ育成会連合会専務理事）

根本氏は、職場での関わりは重要であるから、言葉だけの関わりだけでなく日頃の関わりが大切であると話しました。

室津氏は、障害を局面でとらえず多様な部分があるのでそれぞれの部分に合った合理的配慮があると良いと話しました。

岩上氏は、思っていることを伝えるのは難しくコミュニケーションの取り方に困っているので職場でも話しやすい雰囲気があると良いと話しました。

最後に田中氏は、「障害者差別解消法」の改正は、社会が私たちの困難さをわかろうとしているときに、どう配慮してくれたら助かるのかを伝えられることで、価値観が変わっていく良い機会であると結びました。

私たちの広場 令和４年度活動予定

４月１０日(日)　第１回実行委員会
５月　８日(日)　第２回実行委員会
６月１２日(日)　川崎スポーツの会／スポーツ大会
７月１０日(日)　第３回実行委員会
８月１４日(日)　第４回実行委員会
９月１１日(日)　川崎スポーツの会／日帰りバス研修会
１０月　９日(日)　第５回実行委員会

１１月１３日(日)　講演会(勉強会)
１２月１１日(日)　第６回実行委員会　忘年会
１月　８日(日)　第７回実行委員会
２月１２日(日)　料理教室／てくのかわさき調理実習室(予定)
３月１２日(日)　第８回実行委員会

【問い合わせ、申し込みは、ともかわさき事務局分室　電話　044-812-2966 まで】

「DVD貸し出しコーナー」新着DVDのお知らせ

新着DVDが２本届きました。是非、ご視聴ください。
★全国手をつなぐ育成会連合会「一般社団法人発足記念式典」
★２０２２．２．３　第１２回全国手をつなぐ育成会連合会
　権利擁護セミナーin埼玉
　『本人の声を聴いて、合理的配慮をすすめよう！』

「ふれあい－障害福祉の案内－」の冊子を知っていますか！

この冊子は、川崎市内にお住いの障害者（児）やその家族が利用できるサービスについて、その概要や窓口を紹介しています。

各区地域みまもり支援センター高齢・障害課障害者支援係や各地区健康福祉ステーションに配布されています。すべてを読み込むことは大変難しいかもしれませんが、明日からの暮らし、子どもの将来、自分自身の老後、地域で豊かに暮らすための指針となる情報が記載されています。障害の種別ごとの助成、補助、手当など表から調べたい情報が確認できます。ぜひ活用してみてください。

青い鳥郵便葉書の無償配付のお知らせ

「青い鳥郵便葉書」は、青い鳥をデザインしたオリジナル封筒に葉書２０枚を封入したものです。この葉書は１９７６年より身体障がい者・知的障がい者の福祉に対する国民の理解と認識を深めることを目的とし、社会貢献のため継続しています。配付の対象は、身体障がい者の方で「１級」又は「２級」、知的障がい者の方は療育手帳のＡ又は「１度」もしくは「２度」の表記のある方です。受付は２０２２年４月１日（水）から５月３１日（火）まで、お渡しは２０２２年４月２０日（水）からとなります。ご希望の方は、郵便局に身体障害者手帳または療育手帳を持参して「青い鳥郵便葉書配付申込書」に記入し窓口に提出してください。代人の方、郵送でもお申込み出来ます。

川崎市関係主要職員の紹介（令和４年４月１日現在）

【健康福祉局】

健康福祉局長	宮脇　護
障害保健福祉部長	西川　洋一
障害計画課長	谷　浩昭
障害者施設指導課長	神林　高之
障害福祉課長	大町　法久
精神保健課長	塚田　和広
障害者社会参加・就労支援課長	平井　恭順
総合リハビリテーション推進センター所長	竹島　正
総合リハビリテーション推進センター副所長	小林　宏高
総合リハビリテーション推進センター担当部長	左近　志保
総合リハビリテーション推進センター総務・判定課長（取扱）	＊左近　志保
総合リハビリテーション推進センター企画･連携推進課長（取扱）	＊野木　岳
総合リハビリテーション推進センターこころの健康課長	小泉　朋子
南部地域支援室長	大城　敬子
中部地域支援室長	山田　敦
北部地域支援室長	伊藤　佳子

＊印の方は障害保健福祉部担当部長ですが、事務取扱として記載の職を担当しています。

令和３年度特別支援学校等卒業生の進路状況

１．卒業の状況

学校名	卒業生数
市立中央支援学校	６９
市立田島支援学校	４９
市立聾（ろう）学校	３
県立鶴見養護学校	２
県立中原養護学校	２１
県立高津養護学校	２８
県立麻生養護学校	２３
市外特別支援学校	１１
その他の学校	９０
合計	２９６

２．近年の特別支援学校等卒業生進路状況

		令和元年度	令和２年度	令和３年度	
日中活動	就労移行	２８	１６	１６	5.4%
	就労継続	２８	３２	３５	11.8%
	生活介護	６２	７４	６１	20.6%
	自立訓練	１５	１５	１５	5.1%
	地域活動支援センター	２	４	４	1.4%
	計	１３５	１４１	１３１	44.3%
入所		１	４	１	0.3%
就職		６３	７４	６９	23.3%
職業訓練機関		３	５	６	2.0%
進学		１３	２４	２９	9.8%
その他		６３	７０	６０	20.3%
合計		２７８	３１８	２９６	100.0%

川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告

《令和４年１月２０日～令和４年４月２０日まで》

＜各種会議、行事＞

１月２Ｉ日（金）	東小田小学校福祉教育オンライン講演	オンライン
２月　２日（水）	三役会議	オンライン
９日（水）	第７回権利擁護委員会	オンライン
１５日（火）	第１０回運営委員会	オンライン
３月３日（木）	三役会議	オンライン
７日（月）	やまゆり生活サポート協会との共催研修会（中止）	てくのかわさき
７日（月）	第５回研修事業推進委員会	地域福祉施設「ちどり」＆オンライン
９日（水）	第４回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」＆オンライン
１０日（木）	第５回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
１６日（水）	第１１回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
２２日（火）	令和４年度予算要望回答	ソリッドスクエア
４月　５日（火）	令和４年度第１回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
６日（水）	三役会議	オンライン
１２日（火）	令和４年度第１回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
２０日（水）	令和４年度第１回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」

＜対外行事＞

１月２０日（木）	川崎市あんしんセンター業務監査審査会	書面審査
２０日（木）	障害者支援区分認定審査会	書面審査
２４日（月）	川崎市中央療育センター事故の検証にかかる有識者会議	ソリッドスクエア
２６日（水）	令和４年成人を祝う会実行委員会	地域福祉施設「ちどり」
２６日（水）	やまゆり障害児者生活サポート協会理事会	オンライン
２６日（水）	川崎市バリアフリーまちづくり連絡調整会議	オンライン
２月　３日（木）	第１２回権利擁護セミナー	オンライ
８日（火）	川崎市社会福祉協議会障害者団体部会	川崎市総合福祉センター
１６日（水）	全育連関東甲信越ブロック代表者会議	オンライン
１７日（木）	川崎市障害者施策審議会	オンライン
１７日（木）	障害者支援区分認定審査会	書面審査
２４日（木）	川崎市中央療育センター事故の検証にかかる有識者会議	ソリッドスクエア
３月　１日（火）	川崎市障害者作品展実行委員会	サンピアンかわさき
８日（火）	３団体会長会議	地域福祉施設「ちどり」
８日（火）	日本発達障害連盟理事会	オンライン
９日（水）	全育連代表者・事務局長会議	オンライン
１０日（木）	川崎市あんしんセンター業務監査審査会	書面審査
３月中旬～４月３０日	育成会フォーラム・行政説明会	動画配信
１７日（木）	障害者支援区分認定審査会	書面審査
１８日（金）	川崎市差別解消法地域協議会	オンライン
２４日（木）	社会福祉法人育桜福祉会評議員会	法人事務局
２４日（木）	社会福祉法人川崎市事業団評議員会	事業団本部
２９日（火）	川崎市自立支援協議会	オンライン
３０日（水）	川崎市中央療育センター事故の検証にかかる有識者会議	ソリッドスクエア
４月１４日（木）	全育連関東甲信越ブロック代表者会議	オンライン

寄付金（敬称略）

加藤　久雄	5,000円	匿　名	5,000円

❣ パンフレットが新しくなりました ❣

子ども達が元気に楽しく暮らしていけるように一緒に考えましょう！
１人の声は小さくても、集まれば大きな声になります
力を合わせましょう！！

会員・賛助会員を随時募集しております

詳細は事務局・各支部へお問合せください
ホームページからもお問合せしていただけます
会　　員　知的障害（児）者の家族又はこれに準ずる者
（年会費　2,400 円）
賛助会員　この会の目的に賛同し、賛助会費を納入する個人及び団体（１口 1,000 円３口以上）

【お詫びと訂正】
２０３号Ｐ３の「関哉直人氏」の写真のお名前が「関哉直樹氏」となっています。
正しくは「関哉直人氏」です。誠に申し訳ございませんでした。

編集後記

今号の発行にあたり広報委員会へ参加して感じたこと。それは年齢により心配や不安事が異なること。当たり前の事ですが改めてそう感じました。
“「あれってどうなっているの？」「これってどういうこと？」は あなた一人の「？」では無いと思います。お声を支部役員や広報委員にお聞かせください。
みんなで考え、より良い答えを出して行こうではありませんか。みんなでがんばりましょう！！”
これは過去の広報紙を読み返していて目に留まった一文です。それぞれに色んな思いがあるかと思います。そんな声をぜひ、お寄せください。　（木村　益美）

【もくじ】
Ｐ．１ ．．．．寄稿　全国手をつなぐ育成会連合会連合会会長　久保厚子氏
Ｐ．２ ．．．．（一社）全国手をつなぐ育成会連合会　一般社団法人発足記念式典
Ｐ．３ ．．．．令和４年度川崎市への予算要望回答について／やまゆり広告
Ｐ．４ ．．．．育成会フォーラム／「手をつなぐ」購読のお願い
Ｐ．５ ．．．．令和３年度正会員代表者・事務局長合同会議／２０２１年度行政説明会
Ｐ．６ ．．．．第１０回総会のお知らせ／令和４年福祉大会のお知らせ
Ｐ．７ ．．．．キャラバン隊講演（1/21）／キャラバン隊講演（3/18）
Ｐ．８ ．．．．全国手をつなぐ育成会連合会　権利擁護セミナー
Ｐ．９ ．．．．私たちの広場／「DVD 貸し出しコーナー」新着 DVD のお知らせ／
冊子「ふれあい」の活用／青い鳥葉書のお知らせ
Ｐ．10 ．．．．川崎市主要職員紹介／卒業生の進路状況／近年の卒業生の進路状況
Ｐ．11 ．．．．親の会活動報告／寄付金
Ｐ．12 ．．．．親の会会員募集／お詫び／編集後記／もくじ／発行責任者

発行責任者　川崎市育成会手をむすぶ親の会　会長　美和　とよみ
〒213-0011　川崎市高津区久本 3-6-22　地域福祉施設「ちどり」
TEL：044-812-2966　FAX：044-813-1216　http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki